

平成30年度第1学期学校評価アンケートの集計結果のお知らせ

日進市立日進東中学校長 説田 正

平成30年7月に実施しました学校評価アンケートの結果は以下のとおりです。

1年生

2年生

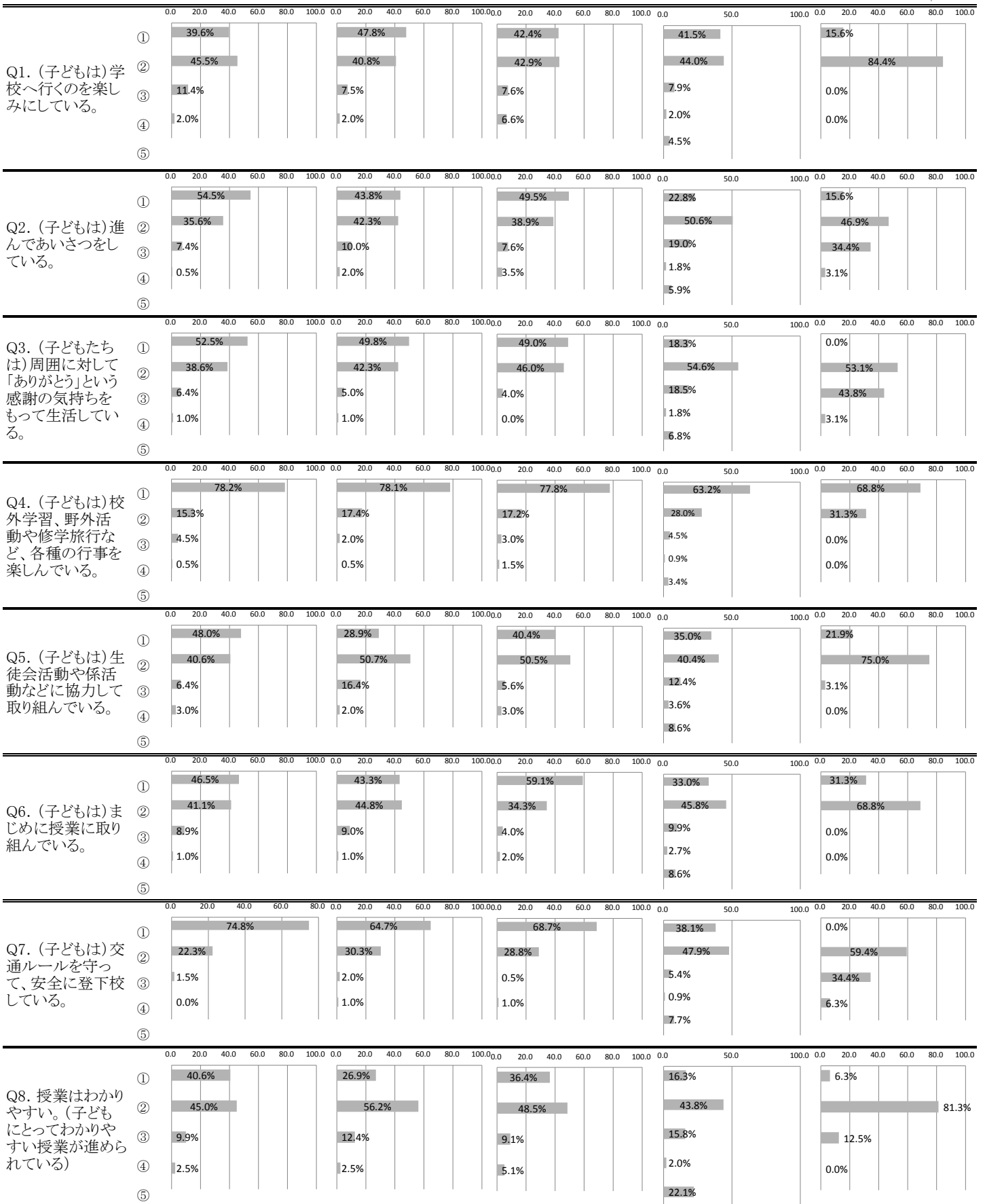
3年生

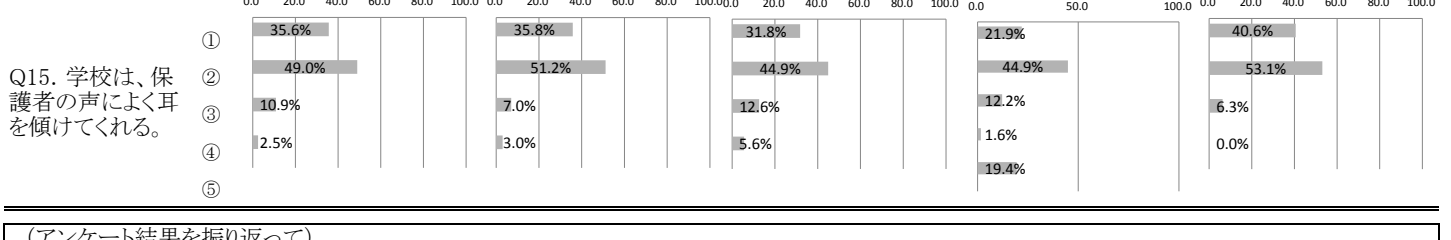
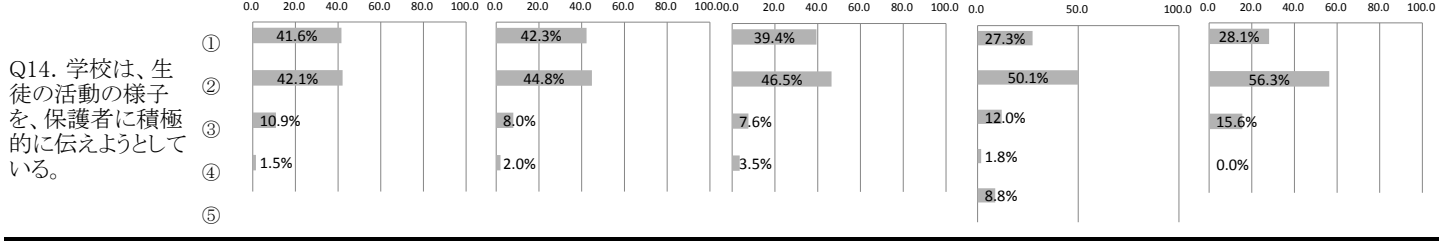
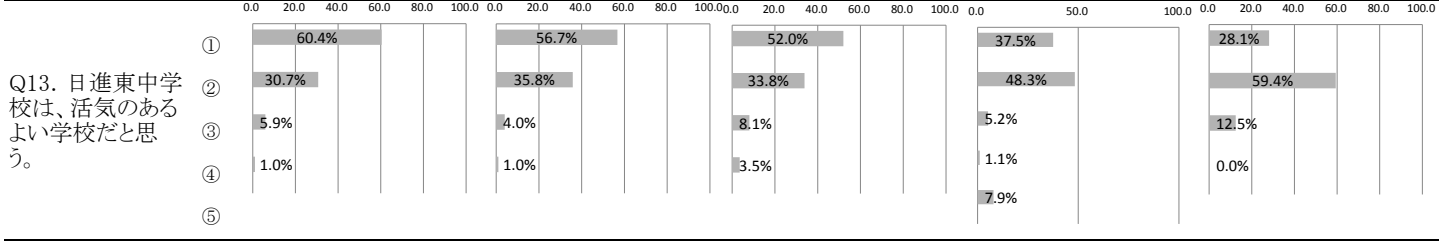
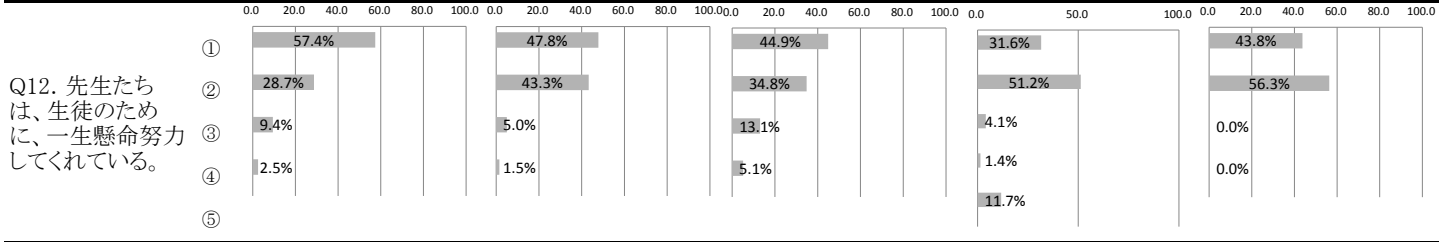
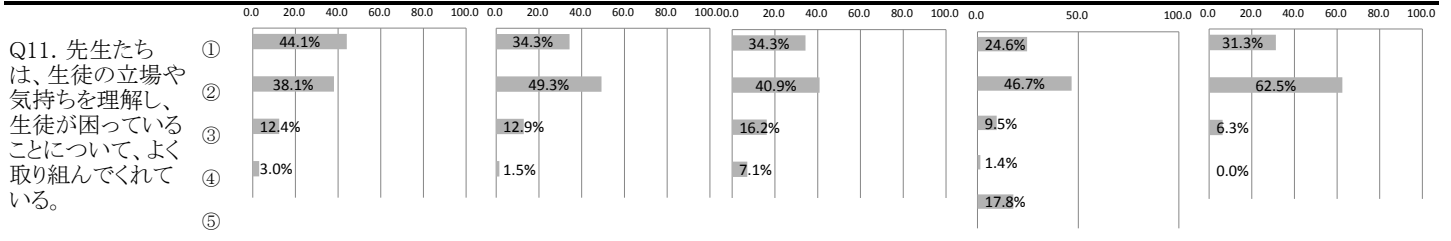
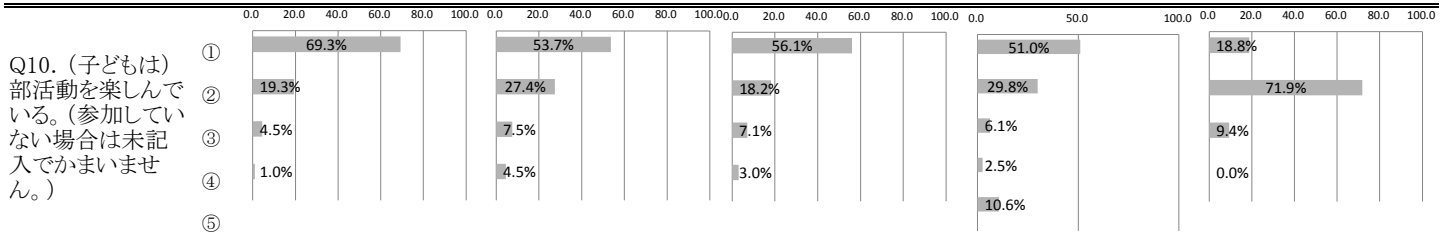
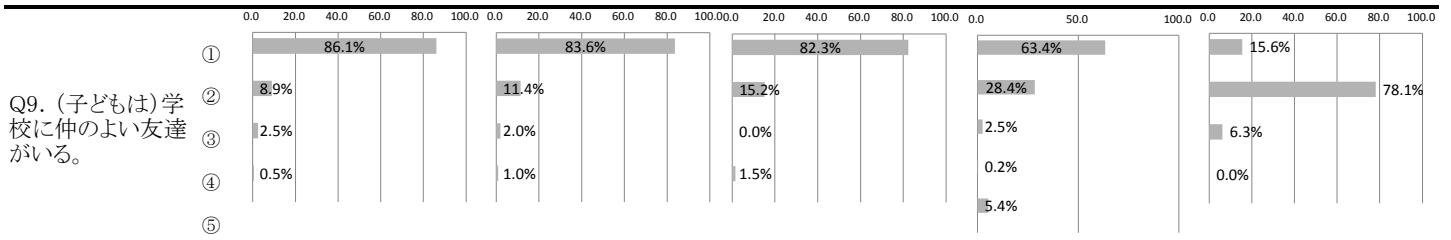
保護者

教職員

※選択項目について:①よくあてはまる・②ややあてはまる・③あまりあてはまらない・④あてはまらない・⑤わからない ※保護者のみ

■ 相対度数 (%)





(アンケート結果を振り返って)

全体的な傾向として、例年と比べ大きな変化は見られませんでした。Q1、Q9について、生徒の肯定的な意見(①②)が各学年ともに8割以上となっていることは評価できます。しかし、③④を回答している生徒の割合に眼向け、0%にしていくことを最重要の課題と捉えます。学校は、実社会と同じく、集団生活となり、思い通りにいかないことも多くなります。周りの大人や仲間が手を差し伸べて支援しながら、それを乗り越えていけるたくまさを育てていく必要があると考えます。特に1年生、3年生の③④の回答率が高くなっています。1年生は、いわゆる中1ギャップを感じている生徒、3年生は進路などで不安を抱えている生徒も多いと思われます。きめ細やかな指導を心がけ、生徒の様子を見取り、心に寄り添う努力を、さらに重ねていく必要があります。Q2、Q3の「あいさつ」「周りへの感謝」の①②の回答率が高いことは喜ばしいことではありますが、保護者や教職員との捉え方の違いも見受けられます。多くの場面で、あいさつや感謝の思いが、自然と出るように、心の教育を大切にしていきたいと考えます。Q6、Q8については、①②の割合が高いものの、①の割合が高くなるよう、分ける授業の工夫が必要です。Q6の3年生については、昨年の2年時と比べ、③の回答率が減り、①の回答率が大きく上がりました。また、①と答えている教職員が6.3%であること、③と答えている教職員が12.5%もいることを反省し、③④と答えている生徒にしっかりと目を向けて、研修を深め、きめ細やかな指導を心がけていきます。Q11、Q12はの③④と答えた生徒の割合は、昨年度と比較をすると、低くなっているものの、現状を深く受け止め、生徒一人一人に対して、心に寄り添った取組ができるよう、今後の指導に反映していかなければなりません。お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。